

▶ スコアボード ◀

第6回すずらん少女サッカー大会
10月27日(日) 11月4日(月・祝) 玄海田公園

第16回横浜市18区代表U-11サッカー大会
(兼 神奈川県U-11少年サッカー大会予選)
11月3日(日)、11月4日(月・祝)
しんよこフットボールパーク

第46回横浜少年サッカー大会 (市長杯)
2020年1月5日 開会式 日産フィールド小机



発行 一般社団法人横浜サッカー協会
編集 同 広報委員会
〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-6-3
DSM新横浜7F
TEL(045)474-4315 FAX474-4316
http://www.yokohama-fa.or.jp
印刷 神奈川新聞社
〒231-8445 横浜市中区
太田町2-23
TEL227-0739 FAX227-0785

第46回横浜市春季少年サッカー大会

優勝

U12 横浜F・マリノスPr

U8 バディーSC

U10 バディーSC

少女 篠原つばめSC



U12優勝 横浜F・マリノスPr



U10優勝 バディーSC

第46回横浜市春季少年サッカー大会は、4月14日に開幕し、各クラスで予選リーグ、決勝トーナメントを行い、6月30日の決勝戦で約3か月に

巨る熱戦の幕を閉じた。U10、U8は各予選ブロックの2位までのチームが、U12は横浜地区JFAリーグ、各ブロック1位のチームが決勝トーナメントに進んだ。U12、U10については上位6チームが県チャンピオンシップ大会出場を決める予選会を兼ねている。

その結果、U12の決勝戦では大豆戸FCとの延長戦を制した横浜F・マリノスPrが優勝した。

U10の決勝戦では、バディーSCがSCH・FCを下し4連覇を果たした。U8の部もあざみ野FCとの延長戦を制したバディーSCが2連覇を果たした。



U8優勝 バディーSC



少女優勝 篠原つばめSC

少女の部では参加した9チームによる予選ブロックを行い、上位4チームによる決勝トーナメントを行った。篠原つばめSCが横浜ジュニオールSCを下し優勝した。

◎U8の部
☆三位決定戦
SCH・FC 1-0 JFC
FC FUTURO

☆決勝戦
バディー0-0 あざみ野SC (延長10) FC

◎U10の部
☆三位決定戦
横浜F・1-1 横浜すみれ
マリノスPr (PK) SCIP

☆決勝戦
バディー3-1 SCH・FC

◎U12の部
☆三位決定戦
あざみ野2-0 六浦毎日
FC SS

☆決勝戦
横浜F・2-1 大豆戸
マリノスPr (延長10) FC

◎少女の部
☆三位決定戦
一本松2-0 金沢ガイ
SC ルス

☆決勝戦
篠原つばめ1-0 横浜ジュニ
オールSC

写真提供：FANTASTICA



横浜FC鶴見Jrが制覇

第54回横浜市旗ジュニアサッカー大会

令和元年第54回横浜市旗ジュニアサッカー大会の決勝戦が6月23日、玄海田公園で

行われ、クラブチームの横浜FC鶴見ジュニアユースが中体連の中川中学校を3対1で下し優勝した。

同大会は、横浜市の中学校並びに市内のクラブチーム(26チームが参加)のナンバーワンを決める大会で、中学校、クラブチームのそれぞれ代表8チームの16チームによる決勝トーナメント戦を行った。

リーグ優勝 チームを表彰

社会人委員会登録総会

定時総会開く

横浜サッカー協会の2019年度定時総会が6月24日に

開催、①平成30年度事業報告
②平成30年度収支決算が審議され、原案通り可決された。

また、平成30年度公益目的支出計画実施報告が行われた。

昨年度のリーグ優勝チームが表彰された。

優勝チームは次の通り。

- 1A..六浦FC
- 1B..CLUB ATLE
- TICOMOJA
- 1C..かながわクラブ
- 1D..NPO横浜スポーツアンドカルチャーラブ
- 2A..FCソシオス
- 2B..FC COMPARE
- 2C..Panasonic
- VIOLA
- 2D..FC東球
- 2E..横浜東区サッカー部
- 3A..今宿 VELHO
- SOCIETY
- 3B..SC ESTREL
- AA
- 3C..エスベランサSC

暑い、熱い戦い

ビーチサッカー大会

ビーチサッカー大会が7月28日、8月3日、4日の三日間にわたり、金沢区海の公園で行われた。

大会は、一般男子の部3チーム、一般女子の部4チーム、小学男子の部24チーム、小学女子の部8チームが参加。真夏の太陽のもと慣れない砂浜のピッチに足を取られ



ながらもバスやドリブルでゴールをめざし、暑い、熱い闘いが繰り広げられた。

ハーフタイム

猛暑の夏日から解放され緩やかに季節の変わりを感じられる気配もしてきました。Jリーグは後半戦となり優勝争いにも一段と興味をそそるところです。今年、ラグビーワールドカップが日本で開催となり、9月20日から始まりました。今回「ポットと生きてんじゃねーよ」と、叱られる前にラグビーとサッカーのルーツに関して調べてみました。日本ではよく「1823年、イングリランドでフットボールの試合中、ボールを抱えたまま相手のゴール目指して走り出した」とたとえられていますが、これは両者の祖である「原始フットボール」を指している英文中の「football」という単語を「サッカー」の別称である「フットボール」との混同に由来する誤解であるらしい。そもそも当時はまだサッカーとラグビーは未分化であり、両者が完全に分かれたのもそれより40年経った後のことで、1863年にサッカーボール・アンション(F.A.)が結成され、統一ルール作成により近代サッカーが本格的に誕生したとき、一部のクラブの代表が、ボールを持って走ることに、ボールを運んでいる相手にボールディング(おさえること)を行うことが認められなかった事などに合意できず、FAを脱退した。これがラグビーフットボールとアンションフットボール(サッカー)が分岐した瞬間であると考えられている。ルールの違いやルーツの詳細をインターネット等で皆さんも検索してみませんか。(M)

今年度も横浜サッカー協会は、交流事業の一環として日朝親善サッカー大会(8月18日・別掲)。そして、シニアチームが日韓シニア交流大会(7月20日から22日)に韓国ソウル特別市へ、また少年選

ジュニアチーム、シニアチームが訪韓 親睦を深めた交流戦

恒例の訪韓シニアの試合は、7月20日~22日の日程で実施した。訪韓の前に強化試合を2日ほど実施し新しい参加者との連携を確認と親睦を図る宴を開催し健闘を称え出

出発当日は台風が心配であったが、各人無事到着。試合の前に激励会を兼ねて夕食会を開催。試合相手はソウル城東60シニアで2年前に対戦した相手であり、当日は大雨で実施したのを思い出しつつ曇りの中で実施。第一試合は

逆襲で新参加者が1点を奪い、1-0の勝利。2試合目は前半は0-0で後半マークのずれを突かれ失点、結果3点を献上して0-3で負け、1勝1敗で終了。試合終了後城東チームと懇親会を開催、来年の健闘を誓いお互いの意図を確認し解散した。

来年の健闘を誓う シニアチーム



第58回横浜市長杯争奪日朝親善サッカー大会が今年も8月18日に開催された。今年も三ツ沢陸上競技場で3試合、朝鮮中高級学校グラウンド1試合が行われ、試合終

横浜市長杯 FCコリアが奪還 第58回日朝親善サッカー大会

了後朝鮮中高級学校グラウンドに移動して、表彰式が行われた。残念ながら横浜社会人選抜の連覇とはならなかったが、表彰式終了後は朝鮮側の主催で出場選手、関係者大勢で焼肉パーティーとなり、来

会場：三ツ沢陸上	神奈川
横浜市立	4-1
鎮西中学校	朝鮮中級部
県立横浜	5-2
翠嵐高等学校	朝鮮高級部
横浜社会人	1-2
選抜A	KOREA
会場：神奈川朝鮮中高級学校	3-3
横浜社会人	朝鮮蹴球団
選抜B	

初めて飛行機に乗ることやニュースで日本と韓国の関係が少し良くないことは知っていたので最初は不安でした。しかし、歓迎会を開いてもらい韓国の少年たちと交流した時、言葉が通じなくても通訳さんを通してたりしながら楽し

バディSC 橋本友翔 スポーツで笑顔に!

最後にこの遠征に帯同してくれた横浜市の方々やコーチ、仁川の方々に感謝したいと思います。



くコミュニケーションを取ることができて不安はすぐになくなりました。二日目と三日目は、仁川のチームとサッカーの交流戦を行い、僕たちは優勝という結果を残せました。

最後にこの遠征に帯同してくれた横浜市の方々やコーチ、仁川の方々に感謝したいと思います。

泉区選抜が初優勝 マリノス杯 第22回横浜市区選抜大会



横浜市内18区の選抜チームの大会で、3チームごと6ブロックで予選リーグを行い、各ブロック1位チームと2位チーム中、成績上位2チームがワイルドカードとして決勝トーナメントに進出する方式で行われた。

3月30日、さえずりの丘公園G、長坂谷公園Gで予選リーグを行い、31日には決勝トーナメントに進んだ8チームでさえずりの丘公園Gで準々決勝、準決勝を行った。3点差の逆転劇やPK戦で11人全員でも決着がつかず二回りめでようやく決まるような熱戦が繰り広げられ、ベスト4が決まった。

鶴見区・南区選抜が優勝 シーガルス杯 第3回横浜市区選抜少女大会



第3回横浜市区選抜少女サッカー大会(ニッパツ横浜FCシーガルス杯)は、7月7日、13日、8月31日の三日間にわたり行われた。同大会は16区(合同チームを含む)が参加。一日目は、4区ずつ4ブロックに分けて予選リーグを戦い、二日目に各ブロックの1位、2位による決勝トーナメント戦を行った。

決勝戦は、鶴見区・南区選抜対西区・中区選抜の合同チームによる戦いとなり、鶴見区・南区選抜が2対0で西区・中区選抜を下し優勝した。3位決定戦は、港北区選抜が青葉区選抜を2対1で下した。

3位決定戦と決勝が行われ、戸塚区選抜が都筑区選抜を下し3位を決めた。泉区選抜と港北区選抜の決勝戦は11人がしつかりボールを運び、つなく泉区のスタイルが功を奏し、港北区を2-1で制し、初優勝を遂げた。

勝利は11人がしつかりボールを運び、つなく泉区のスタイルが功を奏し、港北区を2-1で制し、初優勝を遂げた。



横浜代表がW優勝 春季少年サッカー大会U12の上位6チームは、第39回神奈川県チャンピオンシップ(U12)に、またU10の上位6チームが、第11回神奈川県チャンピオンシップ(U10)に出場した。U12では大豆戸FCが初優勝を遂げ、U10の部でもSCH.F.C.が優勝を遂げ、横浜勢のW優勝という結果となった。

横浜代表がW優勝 神奈川県チャンピオンシップ

U12の部の上位3チームのうち、大豆戸FC(写真)とJFC.FUTUROは県代表として第43回関東少年サッカー大会に神奈川県に代表した。大豆戸FCはブロック1位で予選を通過したが、惜しくも3位という成績に終わった。横浜代表としてチャンピオンシップに出場したチームは次の通り。

横浜マリノス(株)	横浜食品開発(株)
神奈川新聞社	JFE東日本ジーエス(株)
(株)横浜シミズ	(株)横浜アーチスト
	(有)フリースタイル

市内の園児を対象としたキッズ大会が6月22日(土)しんよこフットボールパークで、日産フィールド小机で開催された。この大会には32団体38チーム、445名の元気なちびっこが参加。雨交じりの天候の中、父母のみならず、祖父母まで応援に駆け付け、ファイトあふれるプレーが繰り広げられた。お知らせ 本号は、7月1日号との合併号です。

- ・六浦毎日SS
- ・JFC.FUTURO
- ・原FC
- ・U10の部(順不同)
- ・バディSC
- ・SCH.FC
- ・横浜F・マリノスPr
- ・横浜すみれSC
- ・JFC.FUTURO
- ・CFGYOKOHAMA